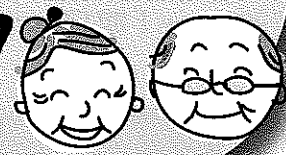


## 群馬県地域密着型サービス 連絡協議会・会報

第31号・・・平成30年11月発行

# あんじゃー ない！！



ごあいさつ

会長 恩田 初男

秋も深ってまいりました。会員の皆様には日ごろより当連絡協議会の活動にご理解、ご協力をいただき感謝しております。

第16回認知症デイ・小規模多機能・グループホーム大会が8月22・23日に開催されました。午前中は両日とも講演・映画会があり、午後からは事例発表でした。今回は66事業所の取り組みの発表があり、事業所での課題や創意工夫したりアルな事例が大変参考になり、事例を聞いた参加者も大きな刺激となったと思います。

この各事業所の取り組みを事業所の関係する身近な人にも聞いていただき、認知症デイ・小規模多機能・グループホームの認知度を高めたいと思います。そこで来年は事例発表をブロックでの開催を基本とし、県内各地で開催することを考えています。近い所での開催であれば、職員も研修として出しやすいことになり、地域のケアマネや他のサービス事業者職員、利用者のご家族も参加しやすくなると思います。

当連絡協議会では県内を4つのブロック分け、ブロック単位でレベルアップ研修や介護講習会を行っています。現在のブロック分けでは地域的に講習会や交流会に不便なことがあるためにブロック分けを役員会で検討しました。その結果4ブロック体制を3ブロック体制に編成し、中北部・西部・東部とすることとしました。この3ブロック体制は31年度から実施します。詳細は次回の総会にて発表します。

恒例の伊香保での管理者等研修が近づいてきました。今年は12月11日（火）となっています。研修内容は「タイプを知ってアプローチするとうまくいく！「コーチング流コミュニケーション」」合同会社結惟 代表社員鈴木結子氏の講義があります。管理者等には有意義な講習となっていますので、ぜひご参加をお願いいたします。



会員事業所の方からリクエストがあった認知症相談窓口の「のぼり旗」が出来上がり、定期総会と夏の大会の時にお披露目させていただきました。連絡協議会の事務局にも見本があります。初回作成したものは完売し、新たに作成中です。ぜひご活用ください。ご入用の方は事務局までお問い合わせ下さい。

## 第16回 群馬県 認知症デイ 小規模多機能 グループホーム大会

大会テーマ「明日へつなげるあなたの思い」

当連絡協議会のメインイベントとも言える大会。今年度も2日間の開催となりました。たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。

基調講演の講師には社会福祉法人愛川舜寿会・常務理事の馬場 拓也 氏をお迎えしました。演題は「社会に福祉をどうみせる」。介護の世界に飛び込んだ一流ファッションブランドのトップセールスマンが、自身の組織と地域にどんなビジョンを描き、どうやって風を吹かせたか…。具体例もわかりやすく、運営のヒントがたくさん詰まった内容でした。

2日目には「ケアニン」を上映。昨年大会にお越しいただいた講師、あおいケアの加藤忠相さんの事業所がモデルとなった映画です。会場では涙を堪える方や、ハンカチで拭う方が続出しました。

そして今大会も県内の介護福祉士養成校の学生さんに、企画会議から当日の運営にと活躍していただきました。学校側のご理解もあり、参加校もコメンテーターを引き受けてくださる先生方も増えました。地域密着型サービスを知ってもらおう良い機会となっています。

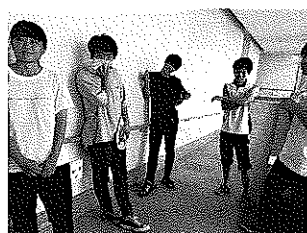
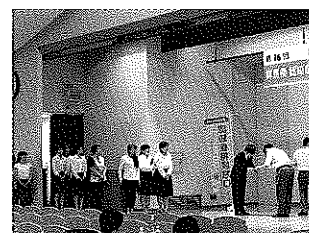
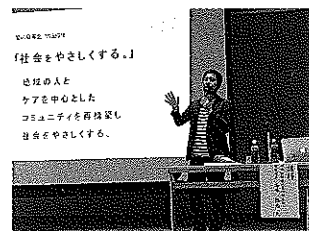
事例発表は、初めて参加された事業所さんや学生さんの発表も含め、過去最高の66事例となりました。参加者のアンケート結果では「共感した、発見があった、役立てたい」等、たくさんの高い評価をいただきました。

パネル展示の数は少なめでしたが、ケアやレクの参考になる、他施設の様子がよくわかり良かったと、参加者の方には大変好評でした。施設やイベントのアピールもできますので次回の企画時にはぜひご参加を！

次年度はイベントスタイルが大きく変更となる見込みです。夏にブロック毎での発表会、秋に全県での大会を予定しています。今年度、西部ブロックは先行して単独での事例発表会を開催しました。身近な地域で行うことで、近隣事業所の職員さんも参加しやすく、地域のケアマネージャーさんやご家族等にも発表を聞いてもらえる、というメリットがあります。次年度は他のブロックにも広げてまいります。

今年の大会では何を得て、何をお持ち帰りいただけましたか…？  
あなたの思いが、明日へとつながりますように！ 広報：上野

Thank you!



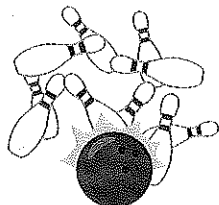
今年もたくさん活躍して下さった学生のみなさん。未来の福祉を担う私たちの仲間に大きな拍手が送られました！

# 活動報告

## 中北部

ブロック長・金井大輔

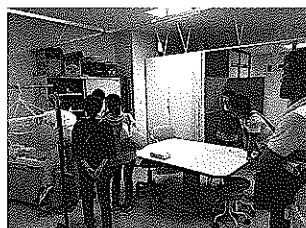
### 6月28日 第1回 中北部ブロック ボウリング大会&親睦会



ボウリングを2ゲーム楽しんだあと、県の介護高齢課から島田さん、黒石さんを交えての懇親会。介護現場の悩み相談、現状の課題に真剣に耳を傾けて下さいました。次回は更に大勢の方の参加をお待ちしております。初対面の方々でも楽しめますよ！

## 西部

ブロック長・忌部（いんべ）洋平



西部ブロックでは6月に第一病院リハビリ室長様に協力頂き、リハビリの講義、リハビリ室をお借りして見学会、体験をさせていただきました。（写真はその時の様子です）

7月には定例会・親睦会を行いました。また来年の2月ごろを予定しています。そして11月にはウエルカム講習と西部ブロック事例発表会を開催致します。色々な活動を企画し、実施できるようにがんばっていますので、皆様今後ともご協力よろしくお願い致します。



西部ブロック主催「夜の事例発表会」のご案内

～地元のだから、共感できることもある。地域の事例から学びませんか？～

他ブロックの方もお気軽にご参加ください！

開催日/平成30年11月14日（水） 参加費/無料

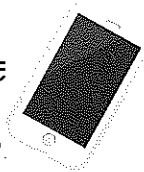
会場 高崎市市民活動センターソシアス 高崎市足門町1669-2

\*申し込み用紙は連絡協議会のホームページからダウンロードできます

お知らせ

## ▶ ホームページをリニューアルしました！

スマートフォンにも  
対応しています。  
ぜひ活用ください！



定期総会でもご案内の通り、ホームページのリニューアルに伴い、会員事業所宛てにFAXで送信していた研修等のお知らせを、メール配信に切り替えました。必要な書類はメール添付書類やホームページから、各自ダウンロードして利用していただく形となります。ネット環境が整っていない事業所へは、従来通りFAXで送信いたしますのでご安心下さい。空き情報は毎月25日までにご連絡いただいたものを、翌月1か月間掲載します。詳細はホームページをご覧ください。FAX送信を減らすことにより通信費の節約にもつながりました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。



最新情報は  
ホームページで  
ご確認ください  
(^ー^)/

ホームページアドレス→ <http://www.gunmaken-chiiki.net>

### ● 管理者等研修会 ●

平成30年 12月11日(火)・12日(水)

伊香保温泉 ☼ ホテル天坊

講演：タイプを知ってアプローチするとうまくいく！

「コーチング流コミュニケーション研修」

講師：合同会社 結惟(ゆい) 代表社員・鈴木 結子 氏

人材開発コーチを講師にお迎えし「コーチング流タイプ分け技術」を学びます。職員、利用者、家族、他機関、地域など… 多様な人々との関係性を築き、相手の心を動かし、力を引き出すためのコミュニケーションスキルです。

懇親会では他の事業所の方々とのネットワークを作りましょう！

今後の予定

お申し込み  
受付中です

### ● マネージャー研修 ●

平成31年 3月12日(火)・13日(水)

群馬県社会福祉総合センター

どちらの研修も  
大変ご好評を  
いただいています。  
ぜひご予約ください！

### ● 認知症窓口研修 ●

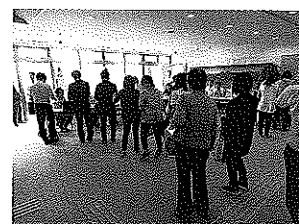
平成31年2月19日(火)

群馬県社会福祉総合センター

## 定期総会

H30年5月28日 群馬県社会福祉総合センター

事業計画の推進事項では、認知症デイ・小規模多機能・グループホーム大会の事例の活用等のご承認をいただきました。講演講師は医療・介護特化型のコンサルタント原田 匡さん。「地域密着型介護事業者の“勝ち組”介護経営戦略とは？」と題し、健全な運営をしていくための発想の転換などのご講話をいただきました。



## 新任者1日研修

H30年5月18日 群馬県社会福祉総合センター



講師：人材育成コンサルタント 増田勝之氏  
27名の方々にご参加いただきました。

今年度は、新卒者が入職して業務にやや慣れてきたころがよいであろうという意見を参考に、例年よりも若干開催時期を早めての開催でした。

新任者1日研修では、演習を通じて、コミュニケーションや、職場でのビジネスマナーなどについて学びました。

アンケートでは、「演習中心の構成で、飽きることなく学べた」、「知識だけでなく、演習を通じて内容がより理解できた」という感想がありました。みなさんとてもよい表情で受講されていました。

研修陪部長・伊藤



## リーダー研修

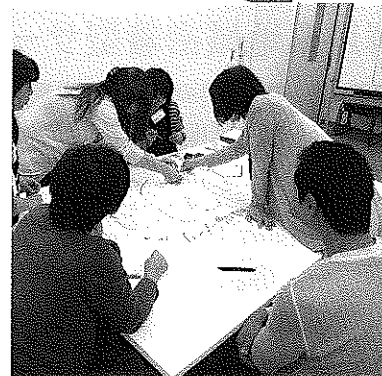
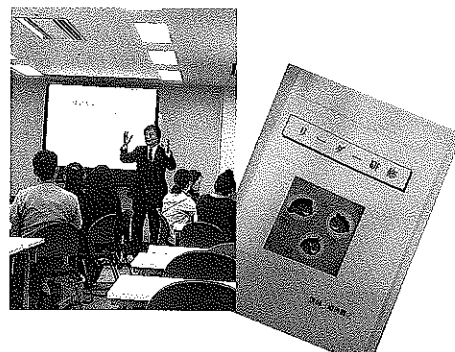
H30年10月15・16日 群馬県社会福祉総合センター

講師：人材育成コンサルタント 増田勝之氏  
24名の方々にご参加いただきました。

リーダー研修は、先に行なわれた新任者研修と連動する内容になっており、新任者に対しての指導の仕方、指示の出し方などを、演習を通じて学ぶことができました。また、問題解決技法についても学び、実際にブレインストーミングやKJ法を用いて、「明るい職場づくり」といことで、職場の問題をグループのメンバーで共有することができました。

受講生からは、「自信のなかったことを学ぶことができました」「他の事業所の人と意見交換ができてよかった」という意見がありました。

研修陪部長・伊藤



## 尊厳を守る介護が安心してできるように

平成19年、愛知県にて要介護4で認知症の男性が電車にはねられ死亡、同居していた85歳の妻（要介護1）や同居していない息子らに対し鉄道会社から責任が追及された例の鉄道事故は、まだ記憶に新しいです。最高裁の判決で、家族への監督義務責任がないと結論づけられたことには、介護関係者として安堵しました。

しかし、同居する家族介護者に責任能力あった場合は責任を問われたかもしれず、そうなれば親身に介護に関わる家族ほどリスクを負わなければなりません。まして介護事業所が関与していれば論点は全く違っていただけと推察します。当時、思ったのは「介護保険の創設趣旨が介護の社会化であること的前提に立てば、この様な責任も社会で分散させる仕組みが家族や介護職にとって必要なのでは？」ということです。

神戸市では来年度にむけ、認知症の早期診断と認知症の人が起こした事故による被害者救済を柱とする認知症施策「神戸モデル」の構築を目指し取り組んでいるそうです。財源は市民税を年間400円引き上げ、市民全体で負担する仕組みとのこと。負担する一般市民の理解が得られるかなど課題もあります。皆が認知症を我がことと思え、支える側になれるように、認知症サポーター講座や日常的な地域交流など、地域密着型サービス事業所でも出来ることを地道に取り組み続けることが大切と思います。

広報：佐塚

### 映画

#### ピア～まちをつなぐもの～

最期の願いは、  
この場所で  
僕たちが支える。

公式サイト

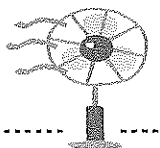
→<http://www.peer-movie.com/>

ケアニン制作スタッフによるスピノフ（番外編）作品が来春全国で公開予定です。在宅医療と介護、多職種連携、看取りをテーマにした作品で、細部までリアリティにこだわって制作されているようです。

題名のピア（Peer）の意味を調べると → 仲間・同じ志の人・心を合わせて、ある物事を一緒にする間柄。…ステキな題名ですね。

当協議会の役員でもある、群馬県介護福祉士会の会長・小池昭雅さんがエキストラで、もしかしたら出るかも？！ これは必見です（^ー^）

あんじゃー  
ない！



### こぼればなし

猛暑日が続く7月下旬、グループホームの居室エアコンが故障。一括制御のため1ユニット全室です。扇風機をかき集めて食堂から風を送りつつ、日中はできるだけ居間や食堂で過ごしていただき、夜間も一部の方に居間で休んでいただいたり、保冷剤を何度も取り替えるなどして対応しました。修理は部品調達に時間がかかるため買い替えを決意。猛暑と人手不足で業者さんも大変な中、無理を言って早期に取り付けをしていただきました。「エアコンの壊れた病室で患者さんが熱中症で亡くなる」という悲しいニュースが流れる中、何事もなく本当に良かったと、胸をなで下ろした夏でした。広報：上野

### Gumma CMS

#### 群馬県地域密着型サービス連絡協議会

事務局 〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町 13-12  
(群馬県社会福祉総合センター 7 階)

☎ 027-289-0908

Fax.027-289-0909

e-Mail [renkyou@gunmaken-chiiki.net](mailto:renkyou@gunmaken-chiiki.net)

ホームページ <http://www.gunmaken-chiiki.net>